

令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)事業効果検証報告

那賀町では、急激な人口減少や少子高齢化がもたらす負の影響を考察し、将来にわたって活力ある地域経済・社会を実現するため、「那賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略(R2～R6)」を策定し、多くの施策を推進しています。このたび、地域創生を支援する国からの交付金を活用した以下の事業について、「那賀町まち・ひと・しごと創生推進会議」において事業効果の検証を行いましたので、その結果を公表します。

検証項目1	実績額		外部有識者からの評価	
	事業費(円)	内:交付金	評価点(平均値)	外部有識者からの意見
健康経営・リカレントを核とした「人生100年時代」への挑戦プロジェクト(フレイル予防推進事業) ●高齢者、障害者など多様な人材が活躍できる基盤の構築 ●モデル地区におけるフレイルトレーナー養成講座・フレイルチェック実施運営 ▼那賀町社会福祉協議会補助金	3,256,000	1,449,500	4.4 (低1⇒5高)	・町の一次産業と絡めた活動を取り入れてはどうか。 ・この事業は続けてほしい。 ・今後も継続してほしい。 ・今後の活動に期待したい。 ・非常に良い担当者に推進してもらっている。 ・ボランティアスタッフに対して、持続的な事業となる様もっと考えていただきたい。本当に大切な事業であり、より良い事業となるよう願う。

■事業期間：令和元年度～令和5年度まで(5ヵ年)

KPI	本事業における重要業績評価指標	本事業開始時(H30)	最終目標値(R6.3)	事業実績値(5ヵ年)	事業実績値(R5年度)
		フレイルトレーナー・サポーター養成数	0人	150人増	96人増

検証項目2	実績額		外部有識者からの評価	
	事業費(円)	内:交付金	評価点(平均値)	外部有識者からの意見
移住支援情報システム構築によるイイ那賀暮らし推進事業 ●移住支援情報システム検討協議会 産官学による協議会において、年会3回(7月/11月/2月)のシステム活用の検討、有効的な移住施策への協議を行う。	4,885,100	2,442,550	3.3 (低1⇒5高)	・移住支援に関して情報システムを向上させもっと力を入れて取り組むべき事業である。もう少し産業・経済に力を入れなければ那賀町としての魅力がない。 ・他にない那賀の新たな特産物をつくる。 ・空き家情報管理システムの構築は那賀町にとって非常に大きいと考える。以後活用していただく事を願う。民間人の意見をもっと取り入れてより良い仕組みにしてほしい。 ・水面下に多数存在する空き家の登録に向けた策(インセンティブ、工夫)の余地がある。 ・移住のきっかけに民間の力も借り魅力を伝える。 ・窓口の担当が親身になってくれたと言う人もいるので、窓口の担当者があまり事務的になるといけない。 ・効果が出てくるのは、今後もっと那賀町が魅力的な町になり住みたいと思う人が増えてきた時だろうと思う。システム構築できたということは、そのような状況になった時にすばやく対応できるので評価できる。 ・那賀町の稼ぐ力の指標が高い水準とあるが、林業・土木業では事業所は町内にあっても、町外、県外の労働者が多い。

■事業期間：令和3年度～令和5年度末まで(3ヵ年)

KPI	本事業における重要業績評価指標	本事業開始時(R3)	最終目標値(R6.3)	事業実績値(3ヵ年)	事業実績値(R5年度)
	① 那賀町移住交流支援センターを通じた移住者数	12人	52人増	22人増	7人増
	② 改修空き家への入居者数	3人	21人増	9人増	2人増
	③ 移住体験希望者数	5人	45人増	26人増	8人増